

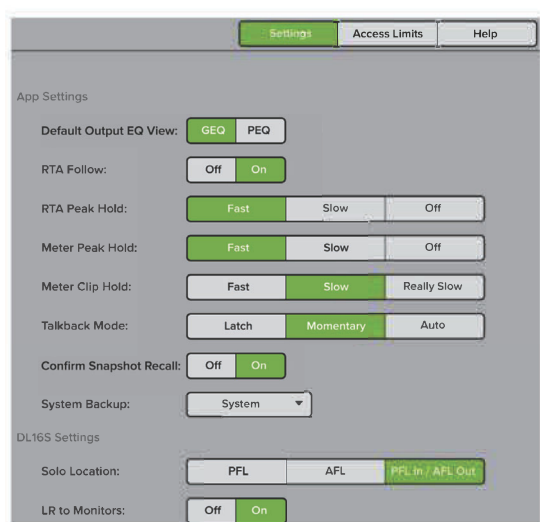
RELEASE NOTES

Mackie Master Fader App V5.0.2 • March 2019

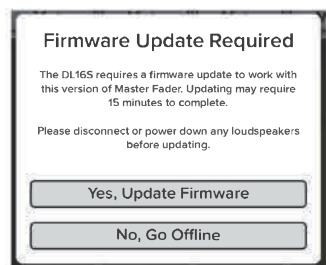
まずはじめに

このリリースノートではバージョン**5.0**以降の**Master Fader**アプリからのアップグレードと**DL**シリーズミキサーのファームウェアの変更点に関して説明いたします。

新しい**Master Fader**アプリは**Playストア**(**Android**デバイス)もしくは**Appストア**(**iOS**デバイス)から直接無料でダウンロードが可能です。アプリをダウンロードする前に必ずシステムのバックアップ(**Tools > Settings > System Backup**)をおこなってください。



ミキサーのファームウェアも更新する必要があります。ファームウェアの更新は、アプリアップデート後、初めて**Master Fader**アプリが**DL**シリーズミキサーにコネクされたときに開始します。アプリ画面の指示に従いアップデートを開始してください。なおこのアップデートには**15**分程度時間がかかります。



注意: ファームウェアを更新してもタブレットがミキサーと認識しない場合、ミキサーの電源を再起動してください。

注意: **DL**シリーズミキサーで固定**IP**アドレスを使っている場合はファームウェアの更新が正しく開始されない場合があります。同様にファームウェアの強制アップデートもできない場合があります。このような場合、**DL**シリーズミキサーを動的**IP**アドレスで使う設定にする必要があります。

メインのネットワークから**DL**シリーズを切り離し、**DL**シリーズに直接**Wi-Fi**ルーターを接続しスタンドアローンで一時的に使うことにより動的**IP**アドレスに設定しファームウェアの更新を行ってください。ファームウェア更新後は再度固定**IP**アドレスを割り振り、メインネットワークに接続してください。

注意: 初期設定でアプリは**iOS**、**Android**共に自動更新されてしまいます。アプリの自動更新をお使いのデバイスで設定してください。自動更新がライブ本番中に開始してしまうと大切なライブを**15**分間中断しなければならなくなります。

Android: **Playストア**>ハンバガーメニューをタップ>設定>アプリの自動更新>アプリを自動更新しない をタップ

iOS: 設定>**iTunes Store**と**App Store**>アップデートをオフ

不明点があれば下記より問い合わせください。

<https://mackie-jp.com/contact/>

システム要件

- **Android:** **v6.0**以上、画面サイズ**8**インチ以上、もしくは高さ**800**ピクセル以上
- **iOS:** **v11.0**以上

サポートデバイス

- **DL16S**
- **DL32S**

Master Fader V5.0.2

以下はバージョン5.0.1以降に追加、変更、修正されたリストです。

1. 機能強化、バグフィックス、安定性の向上（改善時期詳細はMackieホームページ参照）:

- **A/B**ルーティングオプションに**Default**、**Clear**、および**Assign All Inputs**を追加
- ダウンロードオプションとしてリファレンスガイド(英語)を追加
- 画面サイズが小さい**Android**タブレットで使用可能なように**UI**を変更
- **Android**タブレットで画面を横にした時のスマートホンモードになってしまう不具合を解決
- 小型タブレットで発生していた**GEQ**周波数ラベルサイズの不具合を解消
- スマートホンで画面を横にした時の**Mix Selector**が小さくなる不具合を解消
- チャンネルに名前を付けた際に名前がはみ出してしまう不具合を解消
- **I/O**パッチビューアイコンが緑色に光らない不具合を解消
- デバイスタブの表示不具合を解消
- **Show**イメージが**Show**イメージカウントに含まれていなかった不具合を解消
- クライアントモードで**Wi-Fi**パスワードの最後にスペースがある不具合を解消
- パン/バランスコントロールの代わりに**AUX MUTE**を表示していた不具合を解消
- アクセス制限をかけてもナビゲーションバーのデバイスボタンを表示していた不具合を解消
- プリセットに**Modern**と**Vintage**の文字が表示されない不具合を解消
- コピーペースト後にチャンネル画像やアイコンが表示されない不具合を解消
- **Delete / Recall**プリセット確認のポップオーバーをクリアする際の不具合を解消
- 現在選択しているグループタブを自動的に選択してしまうビューグループの不具合を解消
- プリセットが**FX**マスターに適用されたときの不具合を解消
- モメンタリーとオートトークバックモードが機能しなかった不具合を修正
- **RTA**が**PEQ**と**GEQ**で機能しなくなる不具合を修正

Master Fader V5.0.1

以下はバージョン5.0以降に追加、変更、修正されたリストです。

1. 機能強化、バグフィックス、安定性の向上（改善時期詳細はMackieホームページ参照）:

- アプリ改善状況をポップアップにより表示
- 複数のデバイスで**DL**シリーズミキサーに接続した際に生じていた**SHOW**のオペレーションの不具合を修正
- 電源を再起動した際に音声ですぐに再生されない不具合を修正
- スナップショットをリコールした際に**VIEW GROUP**が更新されなかった不具合を修正
- 保存したプリセットにイメージを配置してもチャンネルに画像やアイコンが表示されなかった不具合を修正
- **SHOW**を削除しても完全に**SHOW**が削除されなかった不具合を修正
- プッシュした**SHOW**が**OFF LINE SHOW**を一致しなかった不具合を修正
- 出力チャンネルのプリセットを呼び出しても時間補正のディレイと温度設定がリセットされなかった不具合を修正
- **DL32S**で**AUX7**と**8**にトークバックをルーティングした際にデータが破損してしまった不具合を修正
- イメージを削除した後、**SHOW**のイメージがうまく表示できなかった不具合を修正
- **SHOW**のイメージをスクロールすることができなかった不具合を修正

Master Fader V5.0

以下はバージョン4.6.2以降に追加、変更、修正されたリストです。

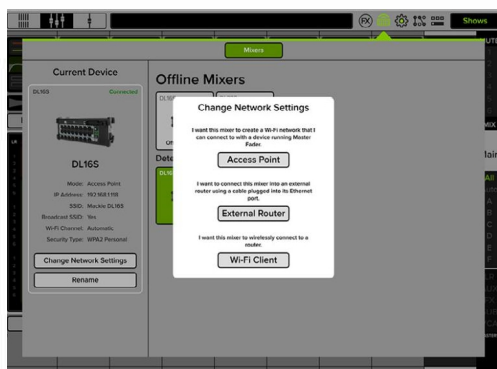
1. マルチプラットフォームサポート

- Master Fader 5.0 は大半のAndroidデバイス、およびiOSにて動作します。詳細は上記システム要件ご参照ください。

2. DL16S/DL32Sで使用可能

- Master Fader 5.0 はDL16S/DL32Sで使用が可能です。

内蔵Wi-FiルーターはDevices Viewよりコントロールすることができます。このモードではアクセスポイント、外付ルーター、Wi-Fiクライアントの3つのモードの切り替えができます。



3. FXのリニューアル

- Master Fader V5.0には以下のFXが追加されました: Phaser, Tremolo, Rotary, Mono/Stereo Chorus, Flanger, Mod Delay, Sweep Filter Manual/Auto/LFO
- ラックをイメージしたFXインターフェース
- FXがトップメニューから瞬時にアクセスが可能に



4. コピー/ペーストの改良

- 各チャンネルのDSP処理、もしくはDSP/Aux/Groupルーティングを含む各チャンネルのすべての情報、いずれかを選択しコピー/ペーストできるようになりました。



5. オーバービューの改良

- オーバービュー画面でフェーダーコントロール、SOLO、MUTE、MUTE GROUPのオン/オフを切り換えることが可能になりました。



6. デバイス

- デバイス選択がトップメニューから瞬時にアクセスが可能に



現在の問題点

Master Fader5.x以上のアップデートで追加される機能
(改善時期詳細はMackieホームページ参照):

- DL906,DL1608,DL32R,DC16のサポート
- MacOS,Windowsのサポート
- Import/Exportのサポート
- USE LR MUTE,Pre-Fader,Post-Faderを有効、無効にすると確認用のポップアップが表示
- プリセットとチャンネル/プロセッサのリセットをリコールする際に確認用のポップアップが表示
- スプリットスクリーン画面操作の追加
- ファームウェアアップデート進捗状況%の追加
- ポートレートビューの改善
- チャンネルに名前を付けるときに次の→と前の←が追加
- RUDISOLO表示の追加
- マルチタッチが可能なEQ、コンプ、ゲート、GEQの追加
- Show ボタンの箇所に現在のスナップショットを表示

Master Fader5.x以上のアップデートで改善される機能(改善時期詳細はMackieホームページ参照):

- 時折ミキサーがDeviceの箇所に表示されないことがあります。Master Faderを終了するか、デバイスのWi-FiをON/OFFしてください。
- 時折Deviceの箇所に2つのミキサーが表示されることがあります。必要な1つのみ選択してください。
- デバイスがアクセスリミットをかけている場合、iPadからのプッシュやファームウェアのアップデートは出来ません。
- スマートホンのHELPビューが中央に配置されていません
- I/Oパッチの一部のアニメーションが欠落
- I/Oパッチが時折ずれて表示される
- ドラッグされたクイックアクセスボタンの表示エラー
- ミキサーの名前を変更した際にデバイスビューには2つのミキサーアイコンが同じ新しいミキサー名でリストに表示
- PEQボール操作時に縦線が表示されない

- iPadのリターンボタンがテキスト入力時に次の行に移動しない
- 入力/出力コンプレッサーのプリセットリストが小さい
- ゲートのレンジボールがスレッシュホールドボールにかぶってしまう
- アクセス制限をすべてONにしてもミックスセクターのポップアップが表示される
- スペクトラムアナライザーの最大(赤色)スライダーが+15dBインジケータをカバーしてしまう。
- RTAメーターにスペースがない
- コピー/ペースト後にチャンネル画像やアイコンが追加できないことがある
- 時折複数のオフラインジョーを勝手に作成
- I/Oタブを切り換えるとビューがリセットされる
- Access Limits All Offボタンを押すとSettingsページに移動
- トリムスライダーがメインミキサービューでは中央からずれて表示
- HPF/LPFボタンがスロープの箇所を触っても移動できてしまう
- チャンネルに名前を付け終了してもチャンネルメニューが表示されたまま
- GEQスライダーが掴みづらい
- オーバービューでチャンネルに触れてもチャンネルビューに移動しない
- 出力セクターが出力へのアクセス制限をかけた後、調整できない

テクニカルサポート

ご不明点がございましたら下記よりお問い合わせください。

Web: <https://mackie-jp.com/support/>

E-MAIL: support_mackie@otk.co.jp